



# よつばの手紙

特集／子どもを見つめていますか

- ・市内企業レポート  
働き続けてほしい。辞めるのはいつでもできます。
- ・家庭・地域生活の両立支援
- ・さんかくの窓
- ・ワーク・ライフ・バランスとは？
- ・現場の芽
- ・紙名決定 よつばの手紙
- ・市民のくらし展  
食をテーマに 見て納得・ちょっぴりお得
- ・おうめの散歩道
- ・人のわ
- ・クリップボード

# 子どもを見つめていきますか

調査 内閣府「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する特別世論調査（平成20年6月）」によれば、男女ともに「仕事と家庭生活のバランスが良い暮らしをしたい」という割合（約6割）が高くなっています。しかし、現状はなかなか難しく、それがストレスの要因となつてさまざまな葛藤を生み出し、子どもの生活に反映しています。

大人の生活を子どもたちはどのように見ているのでしょうか。「家族のために一生懸命働いてくれている」「休みの日には一緒に遊んでくれる」「ご飯の時、話を聞いてくれる」「お父さんとお母さんが笑っている嬉しい」などと答える一方、「すぐお金のことをいう」「遊びに連れて行つてくれるがあまり楽しそうではない」「喧嘩ばかりしているから家にいたくない」というような声も聞かれました。また「叱られる前に宿題をしたのにそんなことより早くお風呂に入りなさいと叱られた」「やつと逆上がりができたのにできて当たり前といわれた」など、子どもを見つめているとはいえない大

人の様子がかがえます。

子どもたちは、大人の命令や義務感だけの言葉、態度ではなく、ほんの数秒でも本当に自分を見つめてくれたと感じればそれだけで安心し「その子らしさ」を広げていきます。

そのことは大人もまた「私らしさ」が新たに作られていくことにつながることでしよう。

私たちは、仕事と家庭生活のバランスのとりにくい社会に暮らしつつありますが、子どもを見つめてみると「人との関わり」が変わり、気持ち共有する関係が培われ「私らしさ」が生まれるのではないのでしょうか。

## おやじ 若草親児の会

### ダチョウの卵で子どもとふれあい

青梅市立若草小学校「親児の会」主催の「ダチョウの卵でカステラをつくらう」という催しが6月21日（日）小学校調理室で行われました。

この「親児の会」は7年前若草小学校の当時4、5年生の子ども同士のトラブルをきっかけにお父さんたちが子育ての悩みを話し合うことから始まりました。今では地域や学校を巻きこんだ行事を通して毎年楽しく交流を図っています。

今回の催しも定員60人のところ160人の申し込みがあり、急ぎょ3回に分けて実施しました。ダチョウの卵の大きさは鶏卵の15～18個分といわれていま



す。「味はいつもの卵とあまり変わらないかな」と出来上がったカステラを食べながら、和気あいあいです。

子どもたちにはカステラの味以上の記憶を、子どもとふれあう機会の少ないお父さんたちには子どもを見つめることができた楽しい時間だったようです。

全国には5,000ともいわれるお父さんの会。青梅市には2つあります。

ぜひ構えることなくお父さんも子育てに参加してみませんか？

問い合わせ 若草小学校

TEL 0428-31-3117

# ひとりで悩んでいませんか？

公的支援機関の相談窓口をご利用ください

	相 談 先	内 容
人権	青梅市市民生活課 Tel.0428-22-2816	身の上相談 人権擁護委員による人権問題や家庭での悩みごと
女 性	東京ウィメンズプラザ Tel.03-5467-2455	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、 夫婦・親子の問題、生き方や職 場の人間関係など
	東京都女性相談センター Tel.03-5261-3110	
	東京都女性相談センター多摩支所 Tel.042-522-4232	
	青梅市子育て支援課 Tel.0428-22-1111	母子自立支援相談 ひとり親家 庭や女性のさまざまな相談
働 く	マザーズハローワーク東京 Tel.03-3409-8609	キャリアカウンセラーによる女 性の就職活動全般の相談 キッズコーナーも併設
	ハローワーク立川マザーズ コーナー Tel.042-523-1509	
	財団法人 女性労働協会 女性と仕事の未来館 Tel.03-5444-4151	キャリア・法律・こころの相談 など働く女性の悩みすべて
子 育 て ・ 教 育	青梅市子ども家庭支援センター Tel.0428-24-2126	子どもと家庭に関するあらゆる 相談
	青梅市健康センター Tel.0428-23-2191	乳幼児健康相談 小児神経科医・ 小児科医・心理相談員・保健師・ 管理栄養士・歯科衛生士による相談
	青梅市教育相談所 Tel.0428-22-1111(640)	教育相談 不登校、集団への不 適応や心身の発達および就学等 に関する相談
*民生委員・児童委員129人の方々が福祉行政と市民をつなぐ パイプ役として委嘱されています。		
市 の 取 り 組 み ( <b>仕事と家庭の両立サポート</b> )	保育サービス 子育て支援課 Tel.0428-22-1111 (577・691)	保育所全園で延長保育 一部の 保育所で一時保育・病後時保育 ・休日保育
	学童保育所 子育て支援課 Tel.0428-22-1111(262)	放課後、保護者の就労等で保育 が必要な小学校1年生から3年 生までの児童を対象に保育
	子育て支援センター はぐはぐ Tel.0428-31-1318	親子で自由に遊べる場 子育て 支援情報の提供、遊びの指導や 行事の実施
	ファミリー・サポート・センター Tel.0428-23-3888	子どものあずかりや送迎を一時 的にお手伝い
	男女平等参画の推進 市民生活課 Tel.0428-22-1111(368)	男女平等参画に関すること

詳しくは市のホームページ <http://www.city.ome.tokyo.jp/>  
または、おうめ子育てねっと <http://ome-kosodate.net/> をご覧ください

## 子ども家庭支援センター ってどんなところ？

東青梅センタービル3階

子ども家庭支援センターは、0歳から18歳未満の子どもと家庭に関する総合相談窓口です。

「子どもの育児・しつけ方がわからない」「育児疲れの時、休養をとりたいけど、子どもをみてくれるところはあるのかしら」「子どもが登校しづいり、不登校、非行傾向で、どう対処したらよいかわからない」など、ひと

つの家庭のなかで、問題は相互に絡み合っています。

どこに相談してよいかわからず、一人で抱えてしまい、悩みが深まってしまうことはありませんか。

子ども家庭支援センターは他の機関（幼稚園、保育所、学校、健康センター、ファミリー・サポート・センターなど）との連携をはかり子育てを応援しています。

またここは、虐待が疑われる子どもがいる家庭の通報窓口※です。まずは子どもの視点からどうすることが一番よいか考え、子ども

も大人も加害者・被害者にならないよう対応しています。

相談員は皆、子育ての経験者で、専門的な資格（心理カウンセラー・教員・保育士・看護師）を活かしながら、知識だけではなく、これまでの経験を出し合って合議の上で対応するように心がけているとのことです。

また、相談したことによって、頑張る意欲がでてきた、など相談者から届いた知らせが、何よりうれしいと話してくれました。

※児童虐待防止法2000年11月施行。  
2004年改正では児童虐待の通報範囲を拡大

# 働き続けてほしい。 辞めるのはいつでもできます。

経営者の松尾紀子さんに会社の子育て支援策などについて伺いました。



株式会社 組織科学研究所  
代表取締役  
松尾 紀子 さん

## 家庭も仕事も大事に

一般的に結婚や出産時に女性が仕事を辞めることが多く、育児が落ち着いた時に復帰しようとしても会社に復帰出来ません。また、他の仕事を探しても再就職することは困難になっています。企業としても、育成した人材が辞めてしまうのは望ましいことではありません。

我が社では社員が仕事を辞めないで育児ができるように、正規職員の短時間労働や休暇規則の改定を続けています。

また、別会社で保育所も開設し子育てをしている女性をサポートしています。6月には新たに河辺駅前に認定こども園別園をオープンしました。

このように、私が女性でも働きやすい環境に関心をもつのは、少子高齢化の進むこれらに対応するには女性の社会進出が必要であると感じているからです。

## 必要とされる社員に

何事もお互いが歩み寄ることが大切であり、私は働きやすい会社になるように頑張り、社員には制度を上手に活用し会社に必要とされる人材になっていただきたいと思います。

社内で経営者と社員の信頼関係を築き上げることが大切なのです。

## 制度を活用するには

育児休業等※の制度があっても実際に利用する難しさを痛感します。女性に利用してもらうのも重要ですが、今後は男性が積極的に取得出来る施策が必要になってくるのではないかと感じます。また、当然のことですが共働きをするために保育所等インフラの整備と料金の低価格化が重要になってくると思います。

※ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

株式会社 組織科学研究所（黒沢2丁目）  
設立 昭和49年9月 社員数 26人（男性16人／女性10人）  
病理検査機関 <http://www.hslabo.co.jp/>

産後休業※取得後、  
職場に復帰した社員  
の方に伺いました

佐々木郁美さん

・職場復帰で大変な事はありませんか

・仕事への責任と育児（保育園への迎えの時間や子どもの体調不良など）の間にはさまれたときです。

・休むことでうしろめたさを感じる事はありましたか

・時間の制限があること  
リアルタイムで状況把握ができず、その場でコミュニケーションがとれないことです。

・仕事と家庭の両立のために心がけていること  
などお聞かせください

夫への感謝。

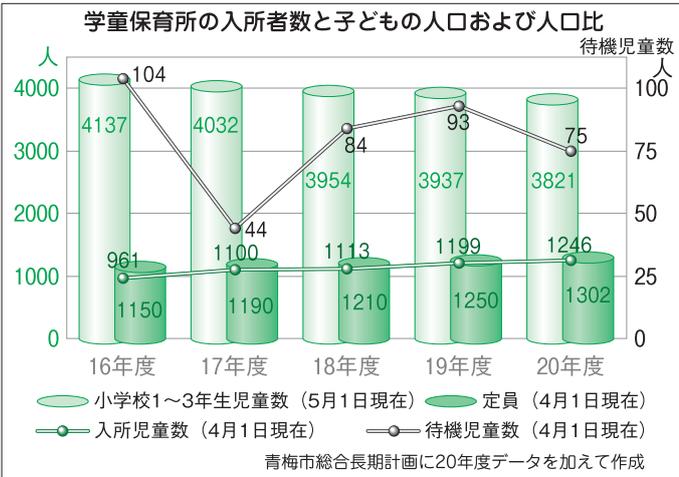
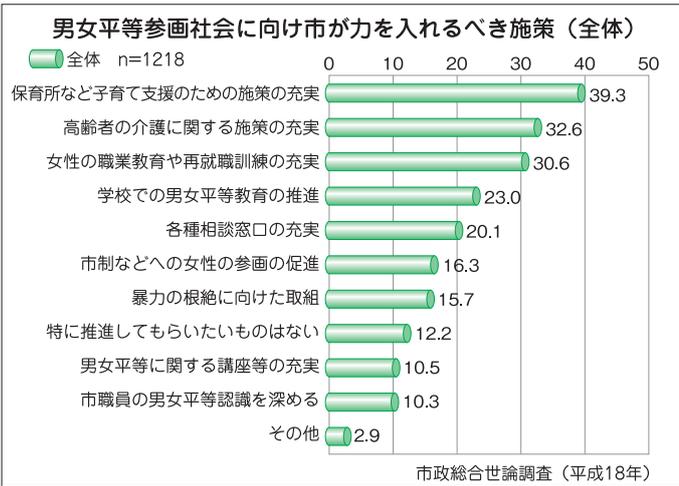
・仕事が第一のとき、家庭が第一のときを分けるようにしています。

※労働基準法 産前休業6週間、  
産後休業8週間

# 家庭・地域生活の両立支援

男性・女性にかかわらず、社会で思い切り自分の能力を発揮したい人も、家庭にいたい人も、家庭との両立を図りながら社会で働きたい人もいます。市政総合世論調査（平成18年）によると、「男女平等参画社会に向け市が力を入れるべき施策」は第1位が「保育所など子育て支援のための施策の充

実」、第2位が「高齢者の介護に関する施策の充実」でした。親の介護や子育て、男女ともにむずかしい課題があります。仕事と育児の両立が難しい現状から出産を機に約7割の女性が仕事を辞めています。いったん仕事を辞め、パート・アルバイトの形で再就職することが多いのが現状です。



第四次青梅市男女平等推進計画・青梅市プランの全文、進ちょく状況報告書は、青梅市ホームページ (<http://www.city.ome.tokyo.jp/>) でご覧になれます。

## さんかくの窓

### 「婚活」時代

山田昌弘・白河桃子著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン



青梅市中央図書館で所蔵しています  
Tel. 0428-22-6543

今、なぜ「婚活」が脚光を浴びているのか。本書では三条件（社会全体の経済環境の変化・自己実現の高まり・交際機会の拡大）を示し、具体例を挙げて述べている。

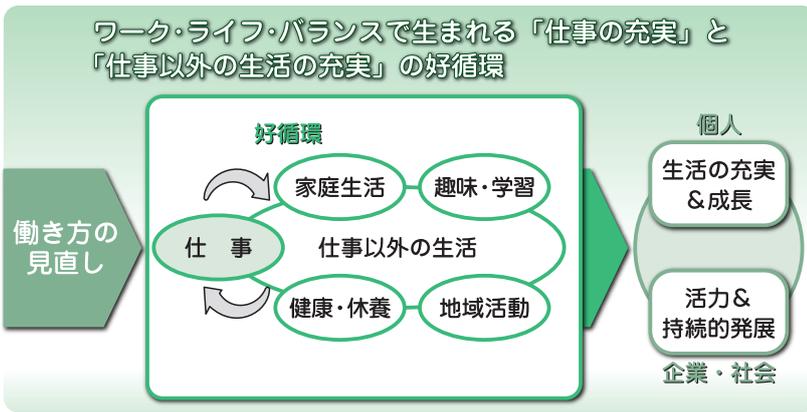
社会情勢の変化につれ、男女の役割も次第に形を変え、男女平等参画社会の到来とともに女性は積極的に自らのライフスタイル構築を意識し、結婚観にも男女逆転の発想が生じている。自己を知り、結婚観の多様性を受け入れ、「婚活」の効果的な活かし方を模索する時代になったといえよう。

（田中祥子 青梅市人権擁護委員）

# ワーク・ライフ・バランスとは？

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と、子育てや親の介護、地域活動等の「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態をいいます。近年、「働く事」を取り巻く環境は、大変厳しいものになっています。そして、働く人々の将来への不安や、豊かさを実

感できない大きな要因として、社会の活力の低下や少子化・人口減少を引き起こしています。ワーク・ライフ・バランスの推進が、充実した暮らしを実現するカギとなっています。



■働き方の見直し ■時間の使い方などの自己管理がポイントです

## カエル！ ジャパンキャンペーン

内閣府では、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」にもとづき、取り組みを進めています。

より多くの人々が働き方を見直し、「変えてみよう」と行動を始めるように、「カエル！ ジャパン」キャンペーンを実施しています。

◆詳しくはホームページをご覧ください。

（内閣府 仕事と生活の調和推進室） <http://www8.cao.go.jp/wlb/>



## 現場の芽

健康相談のとき、不安で泣き出しそうない歳の赤ちゃん。

そんなとき、ママが目をしつかり合わせて、微笑み、声をかけたら赤ちゃんは安心して落ち着いてきました。そんな場面にわたしの心もほんわかします。

あるパパは昼休みに電話で「赤ちゃんは元気？ どう？」ってママと話するのが楽しい、と話してくれました。「ひとりじゃない」ってママは元気になるそうです。育児も協力しあう。そんな家族に、温かい気持ちになります。

（ほ）

## 紙名決定 よつばの手紙

採用者 浜野和子さん はまの かずこ

青梅市男女平等情報紙の名称が「よつばの手紙」に決定しました。

情報紙発行にあたり、広く市民の皆様から紙名を募集したところ、総数17点の御応募をいただきました。ありがとうございました。

「男女平等情報紙紙名選定審査会」において厳正な審査を行い、よつばには幸運のたよりを届ける意味もあり、決定しました。

浜野さんは、女性、男性、子ども、高齢者を4つの葉に見立て、この紙名を考えたそうです。

# 食をテーマに見て納得・ちよっぴりお得

女性グループを中心とした実行委員会による「青梅市市民のくらし展」を開催します。

・日時 平成21年11月7日(土)・8日(日)

10:00～16:00

・会場 永山公園グラウンド産業観光まつり  
・テーマ「見つめなおそう日々のくらし! 私たちの未来のために!」

今年、「食」を中心に展示等を行います。

青梅の新鮮野菜満載です。

## 各コーナー

☆展示コーナー…絵手紙、パネル展示

☆計量コーナー…大豆をびったり100グラムす

くえたら、粗品をプレゼント

☆防災コーナー…煙ハウス体験

☆啓発コーナー…人権擁護や自治会加入についてのお知らせ

☆おもちゃの病院…無料修理、部品代実費

☆クイズコーナー…

各コーナーを回って

答えを見つけ

て!

賞品は市内産野菜

☆その他 絵手紙教室・ゆで卵の配布

昨年参加した方からは「軽量ゲームが

楽しかった」、

「TOKYO Xを試食した。おいしかった」、

「大切にしていたおもちゃが直つて子どもが喜びました」の声がありました。

お問い合わせは市民のくらし展実行委員会

事務局 TEL 0428-24-2502

※参加者は必ずマイバックをご持参ください。



## おうめの散歩道

青梅畜産センター 新町6-7-1



東京の新しい銘柄豚「TOKYO X」を維持増殖する業務を行っています。

TOKYO Xは霜降りの豚肉で、昨年の市民くらし展試食会でも、大人気でした。ほかにも、「東京しゃも」などの鶏や牛も見学できます。

見学問い合わせ 東京都農林水産振興財団

TEL 0428-31-2171 (青梅庁舎)

<http://www.tokyo-aff.or.jp/syutiku/oume.html>

お出かけください。

## 子どもふれあいフェスタ 2009

日時…11月8日(日) 午前10時30分～午後3時00分

会場…青梅ふれあいセンター

内容…模擬店・ゲーム・お化け屋敷・コンサートなど

お問い合わせは 子どもふれあいフェスタ実行委員会

事務局(子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩内)

TEL 0428-24-8981 FAX 0428-21-3966



昨年度の市民のくらし展

## 人のわ

半田 はんだ  
保之 やすゆき さん (62歳)

河辺町9丁目自治会長

**愛知**の田舎で育ちました。どこの地域でも同じだったと思います。

**昔**の子どもは年長者が子どもたちの親方で、みんな地域のなかで育っていました。年長の人々が下の子どもたちの面倒を見て、またその子どもたちが大きくなって新しい子の面倒を見る。それが社会人としての成長の第一歩だったと思います。

**今**の子どもたちには横のつながりしかありません。子どもたちは同じ学年、同じクラスの子としか遊べなくなってしまうました。子どもたちはとにかく忙しすぎるから遊ぶ暇もないし、自由になるとゲームばかりしているけど、遊ぶ時間をきつと見つけようとしていると思います。**視野**が広がるような経験をすること、外へ出て、地域や友達などの広い社会にも目を向けることが大切だと感じています。

**そ**のため

の活動が地域の子供会や自治会で、最近では子供会を支える親への負担が大きくなり、疲れが重なってしまっています。もつと活動を絞って、変わったことをしてみると良いと思います。

**親**がシナリオを作り、子どもはただ参加する、これで子どもは楽しめているのでしょうか。もつと子どもにも自主性を持たせるようにしてみてもどうでしょうか。

「あいさつ」をしつかりすること。地域が助け合っているために大切なことです。私は「変なおジサン」と思われるけど、まちで出会ったら必ずあいさつをするように心がけています。



半田さんは地域活動や仕事で多くの子どもと接しています

## 基本法制定 10周年

2009年は、男女共同参画社会基本法制定10周年。法律は暮らしのさまざまな場面での考え方や行動を積み重ねることによって、その理念が実現します。

「男女平等参画」を、一人ひとりの生活のなかに取り入れていただくヒントになるように、情報紙を発行いたします。

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。また、「よつばの手紙」で取り上げたい内容がありましたら、お知らせください。

### よつばの手紙 創刊号

発行日 2009年9月30日  
発行 青梅市市民部市民生活課  
電話 0428-22-1111 内線368  
編集 男女平等情報紙編集委員会  
編集委員 鶴岡義浩 山崎幸子  
大野哲明 狩野恵子  
吉田由美子

## クリップボード

### あなたの川柳 大募集!

男女共同参画の視点で捉えたユーモアあふれる作品を募集しています。詳しくは9/1号広報をご覧ください。

連絡先 青梅市市民生活課 TEL 0428-22-1111 内368

### 女性の再就職支援パソコン講座

日時 11月11日(水)～12月2日(水) (計4回)  
午前9時30分～11時30分

会場は教育センター、対象はハローワーク青梅に求職登録をしている市内在住でパソコン操作のできる女性。

内容はエクセル初級(基本操作、編集、数式など)、定員23人(抽選)、費用2千円(テキスト代)、託児あり(2歳～未就学児)要予約。  
後援 青梅公共職業安定所(ハローワーク青梅)  
申し込み 10月15日までにハローワーク青梅 職業相談コーナー窓口。TEL 0428-24-8609(代)

### 女性リーダー育成講座 コミュニケーション入門

日時 11月30日(月) 午前10時00分～11時00分

会場は東青梅センタービル会議室です。

詳しくは11/15号広報をご覧ください。

連絡先 青梅市市民生活課 TEL 0428-22-1111 内368